

■取り組み内容（ポイント）

① 目標を明確化する

「あるべき姿」スムーズに中継する（定性的） → 目標 **路線待機時間 0分**（定量的）

② あるべき姿と現状との違い（ギャップ）を知る

「ギャップを知ることで、目標との差が分かり、改善の進捗状況も分かる」

- ・現状を知るために、防犯カメラを利用して、定点観測を行う（**俯瞰で見る**）
- ・待機場所の正確な時間の確認をするため、**スマホ**で定点観測をする（**見えない場所の見える化**）
- ・普段は見えない路線の待機状態を作業員全員が見ることで、現状を共通理解する（**動画の活用**）

③ 改善策を考える

「ボトルネックを発見し改善する」

- ・俯瞰で全体を見て分析する（マクロ） → 路線の到着状況、台車の回転、人の動き
- ・個別に分析（ミクロ） → 路線の到着時間の分析、台車の動線、人員の配置、接岸バース